

トロペロン錠0.5mg

トロペロン錠1mg

トロペロン錠3mg

トロペロン細粒1%

【この薬は？】

販売名	トロペロン錠 0.5mg TOLOPELON Tablets 0.5mg	トロペロン錠 1mg TOLOPELON Tablets 1mg	トロペロン錠 3mg TOLOPELON Tablets 3mg	トロペロン 細粒1% TOLOPELON Fine Granules 1%
一般名	チミペロン Timiperone			
含有量	0.5mg(1錠中)	1mg(1錠中)	3mg(1錠中)	10mg(1g中)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、精神神経用剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・ この薬は、脳内の神経伝達物質の受容体に作用してそのバランスを整えます。
- ・ 次の病気の人に処方されます。

統合失調症

- ・ この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・昏睡状態の人
- ・バルビツール酸誘導体などの中枢神経抑制薬の強い影響下にある人
- ・重い心不全の人
- ・パーキンソン病の人
- ・レビー小体型認知症の人
- ・過去にトロペロンに含まれる成分やブチロフェノン系化合物で過敏症のあった人
- ・アドレナリンを使用している人（アドレナリンをアナフィラキシーの救急治療、または歯科領域における浸潤麻酔もしくは伝達麻酔に使用する場合を除く）
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・心臓や血管の病気の人、低血圧の人、またはこれらが疑われている人
- ・てんかんなどのけいれん性疾患がある人、または過去にこれらの疾患と診断されたことのある人
- ・甲状腺機能亢進状態の人
- ・脱水の人や栄養状態の悪い人
- ・長時間動かないでじっとしている人、長期間病床にある人、肥満の人
- ・肝臓に障害のある人

○この薬には併用してはいけない薬 [アドレナリン（アナフィラキシーの救急治療、または歯科領域における浸潤麻酔もしくは伝達麻酔に使用する場合を除く）（ボスミン）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

1日量	0.5～3mgよりはじめ徐々に増量 通常3～12mg
飲む回数	1日数回に分けて飲みます

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついたときに、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

低血圧、過度の鎮静、重い錐体外路症状（動きが遅い、眼球が上を向く、首のねじれやつっぱり、手足のふるえやこわばり、筋肉のこわばり、足がそわそわして落ち着かない）、呼吸抑制、低血圧を伴う昏睡状態や心電図異常があらわれる可能性があります。小児では血圧上昇があらわれたという報告もあります。いくつか症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


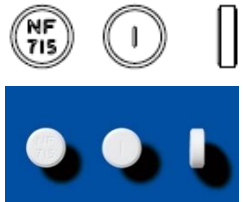
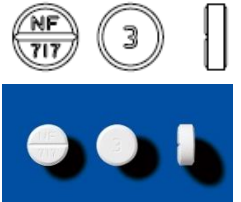

重大な副作用	主な自覚症状
Syndrome malin (悪性症候群) シンドローム マリン (あくせいしょうこうぐん)	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する
麻痺性イレウス まひせいイレウス	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐(おうと)、お腹が張る
遅発性ジスキネジア ちはつせいジスキネジア	意思に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず噛むような口の動き、意思に反して体が動く

重大な副作用	主な自覚症状
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はつけっきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
肺塞栓症 はいそくせんしょう	胸の痛み、突然の息切れ
深部静脈血栓症 しんぶじょうみやくけっせんしょう	下肢のむくみ、手足の爪が青紫～暗紫色になる、 下肢の痛み、発熱、皮膚が青紫～暗紫色になる、 唇が青紫色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	意思に反して体が動く、寒気、発熱、高熱、突然の高熱、汗をかく、体のこわばり
頭部	ぼーっとする
口や喉	飲み込みにくい、吐き気、嘔吐、意思に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き、喉の痛み、話しづらい、よだれが出る、唇が青紫色になる
胸部	呼吸数が増える、胸の痛み、突然の息切れ
腹部	お腹が張る
手・足	手足のふるえ、脈が速くなる、下肢のむくみ、手足の爪が青紫～暗紫色になる、下肢の痛み
皮膚	皮膚が青紫～暗紫色になる
便	便やおならが出にくい
その他	血圧が上昇する

【この薬の形は？】

販売名	トロペロン錠 0.5mg	トロペロン錠 1mg	トロペロン錠 3mg	トロペロン細粒 1%
形状	素錠 	素錠 	素錠（割線入） 	
直径	6.0mm	7.0mm	8.0mm	-
厚さ	2.4mm	2.5mm	3.1mm	
重さ	90mg	130mg	200mg	
色	白色	白色	白色	白色
識別コード	NF713	NF715	NF717	-

【この薬に含まれているのは？】

販売名	トロペロン錠 0.5mg トロペロン錠 1mg トロペロン錠 3mg	トロペロン細粒1%
有効成分	チミペロン	
添加剤	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：アルフレッサ ファーマ株式会社

販売会社：田辺三菱製薬株式会社

(<https://www.mt-pharma.co.jp/>)

くすり相談センター

電話：0120-331-195

受付時間：9時00分～17時30分

(土、日、祝祭日、会社休業日を除く)